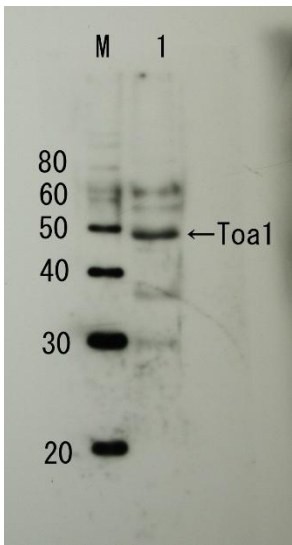


抗 Toa1 (*S. cerevisiae*) 抗体、ウサギ抗血清

商品コード	62-021
容量	100 µl
保存	-20 °C 凍結融解を避ける
濃度	N/A
バッファー	0.1% アジ化ナトリウム添加
純度	ウサギ抗血清
抗原	大腸菌で発現した His-tag 付組換え体 Toa1 タンパク質 (1-286 aa)
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	出芽酵母 Toa1 タンパク質
アプリケーション	ウェスタン ブロットイング (1/1000~1/5000)
背景	基本転写因子 TFIIA は、TATA ボックス結合タンパク質 (TBP) の DNA 結合を安定化するとともに、転写調節因子の働きによって基本転写因子 TFIID が活性化される際に重要な役割を果たす。また出芽酵母の TFIIA は、Toa1p (286aa)、Toa2p (122aa) という 2 個のサブユニットから構成される。
Data Link	SGD TOA1/YOR194C
画像	 図 1 ウェスタンブロット法による Toa1 タンパク質の検出 レーン M: タンパク質サイズマーカー(kDa) レーン 1 : 出芽酵母抽出液 抗血清は 5,000 倍希釈して使用 Toa1 タンパク質の分子質量は 32.2 kDa であるが、WB では 45~47 kDa の位置に出る (他の論文でも)。
文献	本抗体は以下の論文に記載され、使用された。 Takahashi H. et al. <i>Saccharomyces cerevisiae</i> Med9 comprises two functionally distinct domains that play different roles in transcriptional regulation. Genes Cells. 2009 Jan;14(1):53-67. doi: 10.1111/j.1365-2443.2008.01250.x.
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	